

事業所名 HALO こどものいえ

支援プログラム

作成日

令和7 年 3 月 1 日

法人（事業所）理念		1 安心・安全をベースに支援・サポートを考え実施します。 2 体験が思い出として残り、生きていく上での土台となるような日々の支援を大切にします。 3 スタッフが尊重し合い楽しい能力を発揮することで子ども達の笑顔につなげます。 4 これからの時代にフィットする柔軟な療育を考え実施します。 5 奨い合い競い合うのではなく、分かち合い認め合う姿勢で地域・他事業所と関わります。				
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> 「叱るときは叱ります!」ではない、「伝わる支援」を目指します。 「分かりやすく」「繰り返し」「伝わるように工夫をして伝える」ことを大切にし、心理的な安心感を感じてもらえるように、まず「受け止める」姿勢・態度で接します。 お子様の個々の状況・個別の段階に合わせて、ストレングス(強み・個性)を壊さず、大事にし、伸ばします。 環境・経験(設定)の場を設けることで、「認知」「概念づくり」を促しながら、「体験と成長」を慌てず、何度も繰り返していく取り組みを重視します。 				
営業時間		10 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無 あり
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な心身の把握(毎回体温測定・心身の異変に気づけるよう、きめ細かな体調観察の実施) 生活リズムの安定(定期的かつ定時に通所) 時間・空間の構造化をした部屋のレイアウト・掲示・支援 SSTによる身体的・精神的・社会的訓練 身辺自立の確立(排泄、睡眠、衣類の着脱、身の回りを清潔にする等、生活の場面における環境の工夫を行う) 				
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善支援 視覚、聴覚、触覚、嗅覚、固有覚、前庭覚などの感覚活動を遊びを通じて支援 レクリエーション活動での、つかむ・支える・滑る等の要素を取り入れた指先・体幹遊具遊びの提供 ストレッチ、体操等の運動 リトミック音楽に合わせて体を動かす遊びや運動 				
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 物の機能や属性、形、色、音が変化する様子の把握 空間・時間等の概念の把握 1日の活動を示すタイムテーブルの確認による時間の認知形成 粘土等による物質の変化と感覚、ブロック遊びによる空間把握の認知形成 小集団でのゲームでの適切な行動形成、認知の偏りの配慮 季節の変化への興味などの感性形成のための外出 				
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 文字・記号、絵カード等の発達段階に応じたコミュニケーション手段を選択・活用 帰りの会で今日の感想・気持ちをプレゼンテーションして言語表出・受容 個別または小集団での障害の特性に応じた読み書き ルールなどを絵や絵カードを使って視覚化 コミュニケーションのスキルの向上支援 				
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> アタッチメント形成(安心できる居場所作りを行うために、個別支援で安心感や信頼感を育む支援を行う) 見立て遊び、つもり遊び、ごっこ遊びの組み合わせ 一人遊び、並行遊び、連合的な遊びの組み合わせ 役割分担のある遊びなどの協同遊び ルールの理解が必要な遊びや集団活動 				
家族支援		・事業所や家庭での様子を踏まえたフィードバックの実施 ・家族の子育てに関する困りごとにに対する相談援助・情報提供 ・きょうだいへの相談援助等の支援	移行支援	・個々の障害特性等を踏まえた一貫した支援を行うため、他事業所や保育所・学校等との連携を通して、子どもの状態や支援内容等についての意見・情報共有や、支援内容等の擦り合わせや確認等の取組を行う。		
地域支援・地域連携		・地域の連携会議に参加し、情報収集・役割分担について協議する。 ・各関係機関からの情報に基づき、具体的な場面でのこどもとの関わり方の提案や関わり方のポイントについて助言を行う。	職員の質の向上	・支援研修会の実施(月1回) ・初任者研修の実施 ・事業所間での事例検証会の実施(定期開催)		
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> 運動トレーニング「HALO みんなで運動!」(毎月1回) プール(夏休み)・夏祭り(8月)・クリスマス会(12月)・全事業所合同イベント(年1回) 				